



## マケドニア旧ユーゴスラビア共和国 (Former Yugoslav Republic of Macedonia)



- マケドニアへの援助総額は2014年までに累計414.96億円。
- 1995年にマケドニアに対する経済協力を開始して以降、主に医療サービスの向上と経済発展のための支援を実施。
- 近年は、環境インフラ整備や民間セクター開発に重点を置いている。

### 国概要

#### (基礎データ)

- ・ 面積: 2万5,713平方キロメートル(九州の3分の2)
- ・ 人口: 208万人(2015年, 世銀)
- ・ 首都: スコピエ
- ・ 言語: マケドニア語, アルバニア語
- ・ 宗教: キリスト教(正教)70%, イスラム教30%
- ・ 政体: 共和制
- ・ 議会: 一院制(123議席)
- ・ GDP: 113.1億ドル(国連統計部)
- ・ 一人あたりGDP: 5,371ドル(2014年, 世銀)
- ・ 経済成長率: 3.8%(2014年, 世銀)
- ・ 失業率: 29%(2013年, 世銀)

※特に注がない場合は外務省ホームページをもとに記載。

#### (略史)

6-7世紀	スラブ人が定住
15世紀以降	オスマン帝国の支配下に入る
1918年	セルビア人・クロアチア人・スロベニア人王国建設
1945年	旧ユーゴ構成共和国の一つとして発足
1991年	旧ユーゴより独立
1993年	国連加盟
2001年2月	アルバニア系過激派勢力による武力蜂起, 政府軍との衝突(旧ユーゴ最後の民族紛争)
2001年7月	NATO仲介により停戦 枠組み合意(オフリド合意)成立

### 援助実績

スキーム	額(累計)／人数(延べ)
円借款	96.89億円 (2014年度末時点)
無償資金協力	272.09億円 (2014年度末時点)
技術協力	45.98億円 (2014年度末時点)

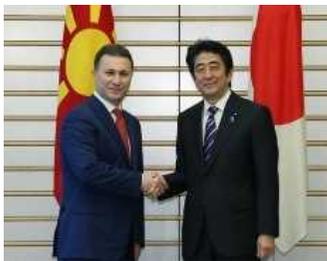
### 経済関係

スキーム	金額／人数(直近年)
日本からマケドニアへの輸出	10.46億円 (2015年度, 財務省)
マケドニアから日本への輸出	12.74億円 (2015年度, 財務省)

出典: ODA国別データブック2015

青年海外協力隊事務局統計(平成28年6月末)

(注) 青年海外協力隊には、短期派遣ボランティアを含む。



2014年7月1日に行われた日マケドニア旧ユーゴスラビア共和国首脳会談(先方はグルエフスキー首相)。

### 人的つながり

項目	人数(直近年)
マケドニアにおける在留邦人数	15人 (2014年, 外務省)
在日マケドニア人数	5人 (2015年, 法務省)
マケドニアから日本への留学生数	7名 (2015年, JASSO)

## 日本とマケドニア旧ユーゴスラビア共和国との協力年表

年代	案件
1994年3月	日マケドニア外交関係開設 経済協力に関する政策協議実施, 対マケドニア技術協力の開始
1995年	初めての無償資金協力としてノンプロジェクト無償及び医療機材整備計画に対する援助を実施
1996年	マケドニアからの国費研究留学生の受け入れ開始
1999年	1998年～1999年のコソボ危機により生じた難民の受け入れ国に対する支援として、医療機材供与、食糧増産援助、ノンプロジェクト無償等合計22億7400万円を供与
1999年4月	高村外務大臣がマケドニアを訪問し、コソボ危機に係るコソボ及び周辺国支援策につき説明 また、ディミトロフ外相との間で、一般無償案件「ピトラ総合病院医療機材整備計画」及び食糧増産援助についてE/Nに署名
1999年12月	河野外務大臣のマケドニア訪問
2000年	初の文化無償資金協力案件「マケドニア・フィルハーモニー管弦楽団に対する楽器供与」に関するE/N署名
2001年1月	無償資金協力「一次医療施設医療機材整備計画」他3件(供与限度額: 22.79億円)
2003年	トライコフスキー大統領が訪日し、マケドニアに対する初めての円借款「ズレトビツァ水利用改善計画」(供与限度額: 96億8,900万円)のためのE/Nが署名される
2003年4月	一般無償資金協力「スコピエ市呼吸器関連医療施設医療機材整備計画」(供与限度額: 1.06億円)
2004年3月	一般無償「スコピエ周辺地域給水改善計画(詳細設計)」(供与限度額: 0.53億円)
2006年6月	一般無償「第二次一次医療機材整備計画」(限度額: 8.1億円)
2014年	外交関係樹立20周年 駐日マケドニア大使館開設 グルエフスキー首相訪日
2015年	シリア危機に端を発する欧州への難民流入に際し、その受け入れ支援のためマケドニア及びセルビアに対し、約520万ドルの緊急人道支援実施 その他、対マケドニア支援として、補正予算により約298万ドルを拠出
2017年1月	スコピエに日本大使館開設(予定)

2013年1月26日に行われた竣工式の様子。マケドニアからは、首相・財務大臣・農業大臣が出席。前日積もった雪の上での式典となった。



2014年7月1日・マケドニア首脳会談。グルエフスキー首相は、日本によるこれまでの対マケドニア支援(合計約410億円)に対し、感謝の意を伝達。



2013年度草の根無償資金協力で、マケドニア北部クマノヴォ市郊外にある民族紛争で被害を受けた村の小学校の教室増築を実施。2014年10月の完了式典(写真)には、マケドニア教育科学大臣等が出席。



難民受け入れ支援のためにUNHCR、UNDP、UNICEF等を通じた支援を実施。

